

**2022年10月改訂(第10版)

*2020年6月改訂

*5%ブドウ糖加酢酸リンゲル液

日本標準商品分類番号

873319

処方箋医薬品^注

ソリュージェン[®]G注

SOLYUGEN G INJ.

貯法：室温保存

使用期限：容器、外箱に表示

注)注意—医師等の処方箋により使用すること

* 承認番号	20300AMZ00331
* 薬価収載	2011年11月 1997年7月 1992年7月 2020年6月
* 販売開始	2011年11月 1997年7月 1992年7月 2020年6月

*【組成・性状】

*1. 組成

容量	200mL	300mL	500mL	
有効成分	ブドウ糖	10.0 g	15.0 g	25.0 g
	塩化ナトリウム	1.2 g	1.8 g	3.0 g
	塩化カリウム	0.06g	0.09g	0.15g
	塩化カルシウム水和物	0.04g	0.06g	0.10g
	酢酸ナトリウム水和物	0.76g	1.14g	1.90g
添加物	pH調整剤	適量		

*○電解質濃度(mEq/L)

Na ⁺	K ⁺	Ca ²⁺	Cl ⁻	CH ₃ COO ⁻	熱量
130	4	3	109	28	100kcal/500mL

*2. 製剤の性状

性状	無色～微黄色澄明の液
pH	4.0～6.5
浸透圧比	1.8～2.1(生理食塩液に対する比)

【効能又は効果】

循環血液量及び組織間液の減少時における細胞外液の補給・補正、代謝性アシドーシスの補正、エネルギーの補給。

【用法及び用量】

通常成人、1回500～1,000mLを点滴静注する。投与速度は通常成人ブドウ糖として1時間あたり0.5g/kg体重以下とする。なお、年齢、症状、体重により適宜増減する。

*【使用上の注意】

*1. 慎重投与(次の患者には慎重に投与すること)

- (1)腎疾患に基づく腎不全のある患者[酸塩基平衡の異常、電解質異常が起こることがある。]
- (2)心不全のある患者[体液量の過剰により心負荷を起こすことがある。]
- (3)高張性脱水症の患者[細胞内、組織間液が増加し、浮腫を起こすことがある。]
- (4)閉塞性尿路疾患により尿量が減少している患者[体液量が過剰となることがある。]
- (5)糖尿病の患者

*2. 副作用

本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。

大量・急速投与：脳浮腫、肺水腫、末梢の浮腫(頻度不明)があらわれることがある。

*3. 高齢者への投与

一般に高齢者では生理機能が低下しているので減量する等注意すること。

*4. 適用上の注意

調製時：

- (1)本剤はカルシウムを含有するため、クエン酸加血液と混合すると凝血を起こすおそれがあるので注意すること。
- (2)リン酸イオン及び炭酸イオンと沈殿を生じるので、リン酸又は炭酸を含む製剤と配合しないこと。

*【取扱い上の注意】

- (1)通気針は不要。
- (2)連結管による連続投与は行わないこと。連続投与を行う場合には、Y型タイプのセットを使用すること。
- (3)内容液の漏出又は混濁などが認められた場合は使用しないこと。
- (4)オーバーシール(ゴム栓部の汚染防止のためのシール)が万一はがれているときは使用しないこと。
- (5)ゴム栓への針刺は、ゴム栓面に垂直に、ゆっくりと行うこと。斜めに刺すと、ゴム片(コア)が薬液中に混入したり、ポート部を傷つけて液漏れを起こすおそれがある。
- (6)容器の目盛はおよその目安として使用すること。

*安定性試験

最終包装製品を用いた相対加速試験(40℃、相対湿度75%、3ヶ月)の結果、ソリュージェンG注は通常の市場流通下において3年間安定であることが推測された。1)

*【包装】

200mL×20袋(FC)
500mL×20袋(FC)
200mL×30袋(プラスチック製バッグ入)
300mL×20袋(プラスチック製バッグ入)
500mL×20瓶(プラスチック製ボトル入)
FC(フレキシブルコンテナ)：輸液用のポリエチレン製ソフトバッグ

*【主要文献及び文献請求先】

*【主要文献】

1) ネオクリティケア製薬 社内資料：安定性試験(2016)

*【文献請求先】

主要文献に記載の社内資料につきましても下記にご請求下さい。
ネオクリティケア製薬株式会社 学術情報フリーダイヤル
〒112-0006 東京都文京区小日向4-2-8
TEL 0120-265-321
FAX 03-5840-5145